

NEWSLETTER

NO. 30

6 JANUARY 2003

・2002年地理学教室の行事記録	・・・・・・ 1
・人文学会講演会の開催	・・・・・・ 2
・2002年度地理実習の記録	・・・・・・ 3
・卒業論文公開口頭試験について	・・・・・・ 5
・2002年度卒業論文公開口頭試験日程	・・・・・・ 6
・国土館地理学会費の納入について	・・・・・・ 7

【2002年地理学教室の行事記録】

- 2月12・13・14日 平成13年度 卒業論文公開口頭試験
- 4月29日 生物地理学野外実習（鶴川キャンパス：磯谷）
- 5月11日～12日 交通史研究会第28回大会（10号館ほか：岡島）
- 5月25日 生物地理学野外実習（生田緑地：磯谷）
- 5月31日 9月卒業生公開口頭試験（10401ゼミ室）
- 6月4日～5日 1年生地理実習  
（横浜市緑区：長島、野口、長谷川、内田、岡島、磯谷、加藤）
- 6月8日 国土館地理学会（於 世田谷キャンパス 10号館ほか）  
<講演会> 清水 靖夫氏（本学非常勤講師）  
「明治初年の地図事情」  
<総会> 10号館10329教室  
<懇親会> 学生ホール
- 7月19日～25日 測量夏期集中実習（世田谷：中村）
- 7月25日～26日 第2回ジオグラフィック・アライアンス（長谷川、磯谷、加藤、院生2名）
- 7月30日 国土館地理学会巡検（世田谷区内：岡島）
- 8月7日～10日 自主巡検（伊豆半島：磯谷）
- 8月16日～18日 自主巡検（長野県富士見町：磯谷）
- 8月23日～9月8日 自主巡検（沖縄石垣島：長谷川）
- 10月2日～3日 2年生地理実習  
（埼玉県川口市・さいたま市：長島、長野県霧ヶ峰高原：野口・長谷川、  
栃木県那須町・福島県白河市：内田、静岡県三島市：岡島、  
長野県茅野・蓼科方面：磯谷、東京都渋谷区：加藤）
- 10月22日～25日 3年生地理実習  
（新潟市：長島、会津若松市：野口、伊豆大島：長谷川、神戸市：内田、静岡市：岡島、  
伊豆半島：磯谷、津市：加藤）
- 11月22日 人文学会講演会（本年度地理学専攻担当：於世田谷校舎10号館 10329教室）  
板倉 雄三氏（日本学術会議第1部長、東京大学・東京経済大学名誉教授）  
「9.11から1年 中東・イスラーム世界のゆくえは？」
- 12月4日 大学院(地理・地域論系) 修士論文第3回中間発表会
- 12月14日 国土館地理学会（於 世田谷キャンパス 10号館ほか）  
<講演会> 目崎 茂和氏（南山大学総合政策学部教授、三重大学名誉教授）  
「風水に学ぶ地理学の幸せ」  
<ゼミ発表> 今井正人、桑田裕子・池田冬大・里村絵美、星野秀明・瀧口和也、池澤鉄平、  
加藤郷、鈴木俊之、中島晶子  
<懇親会> 1号館地下（スエヒロ教職員食堂）

**重要事項！必ず読むこと！**

研究室、図書館から借りだしている書籍・備品は口頭試験の前（2月初旬）までに必ず返却して下さい。4年生で未返却の者は、卒論口頭試験が受けられません。

## 【人文学会講演会の開催】

国土館大学文学部人文学会（文学部の学内学会；教員と学生で組織）では毎年，秋に大会を開催し，著名な先生方に講演をお願いしている．本年度は地理学専攻が幹事であったことから，下記のような講演会を主催した．

日 時：2002年11月22日（金）15:00～16:30

場 所：世田谷校舎 10号館 10329教室

講演者：板垣雄三 先生（東京大学・東京経済大学名誉教授、日本学術会議第1部長）

演 題：9.11から1年 中東・イスラーム世界のゆくえは？

板垣先生は中東研究の第一人者であるとともに，世界的権威であり，「9.11」以降，テレビ・新聞等でその姿や名前を目にする有名な先生である．

先生は1931年生まれ．東京大学文学部西洋史学科卒業．その後，東京大学東洋文化研究所助手になる．東洋文化研究所は人文地理学者としても有名な飯塚浩二先生がいたことから地理学とも関係の深いところである（板垣先生は諸事情からその人文地理学教室の助手であった）．その後，東京外国語大学アジア・アフリカ文化研究所の助教授，東京大学教養部の助教授，同教授となる．定年後は東京経済大学に移られ，1997年～98年までは新設間もないコミュニケーション学部の学部長も務められ，2001年3月に定年退職された．現在は東大と東経大両大学の名誉教授となっている．

また現在，日本学術会議第1部の部長でもある．日本学術会議は科学に関する重要事項を審議し，それを実行する機関であり，日本の科学者を代表する機関である．全国に科学者は約73万人いるが，その代表として選ばれた210人の会員で学術会議は構成されており，研究分野ごとに第1部～第7部に分かれている．そのうち第1部は教育学，哲学，歴史学，人文地理学，語学，文学，社会学，地域研究などの分野が集まる，いわば文学部の「総元締め」といえるところである．その第1部の長である板垣先生と我々は，日々の勉強においても関係があるといえよう．

また先生は日本中東学会会長，中東調査会中東研究所理事も歴任され，1991年には日本ジャーナリスト会議特別賞も受賞されている．

このような先生を人文学会にお呼びできたことは国土館大学文学部全体あるいは地理学教室にとって大変名誉なことであった．

当日も，「欧米社会のフィルター」を通して中東世界を見るような日本にありがちな観点からではなく，直接，中東世界と向き合う先生の一貫した研究姿勢にもとづく講演が展開された．「9.11はひとつの帰結にすぎない」といった講演内容に代表される（各国や各地域の歴史の「寄せ集め」としてではなく，世界の様々な動きをひとつの視点から捉えるという本当の意味での）「世界史」的観点からの考察などは，地理学を学ぶ者にとっても非常に有意義なものであった．

講演は予定を30分近くオーバーしたが，教室一杯の約230名の聴講者にそれを感じさせない熱のこもったもので，幹事専攻として，本講演会は成功裏に終えることができたものだったと自負している．

（加藤 幸

治）



板垣雄三先生



10329教室一杯の聴講者

【2002年度地理実習の記録】

1年生地理実習：6月4日（火）、5日（水）実施

磯谷・長島・野口・長谷川・内田・岡島・加藤

実施地：横浜市緑区内（十日市場～中山方面）

参加学生数：68名（男子54名、女子14名）

テーマ：多摩丘陵南部における地形改変と景観・土地利用の変遷

内容：過去（1950年代）と現在の地形および景観と土地利用を調べて相互に比較することにより、地形改変と景観・土地利用変遷の実態と特徴を明らかにする。

課題：A4版10枚以上のレポートとしてとりまとめる。

2年生地理実習：10月2日（火）、3日（水）実施

長島

実施地：埼玉県川口市およびさいたま市

参加学生数：10名（男子9名、女子1名）

テーマ：都市地域における農業・農村の現状と課題

内容：第1日 川口緑化センター見学。2人1組で盆栽園、植木園の聞き取り。

夜 報告・討論 宿舎 別所沼会館

第2日 東浦和駅下車。通船堀見学。見沼代用水路西縁、東縁沿いに北上、市街化区域・調整区域の土地利用を中心に現状観察。国昌寺の北地区斜面林「さいたま緑のトラスト1号地」。

さぎやま記念公園にてまとめ。

課題：レポート 8000字程度（含む図、表、写真）島

野口・長谷川

実施地：長野県霧ヶ峰高原

参加学生数：18名（男子12名、女子6名）

テーマ：霧ヶ峰高原を例に、本州亜高山帯における自然環境を理解する。

内容：霧ヶ峰高原の地質学的、地形学的位置づけ、霧ヶ峰高原の気候学的位置づけと生態系、霧ヶ峰高原と人的関わり。

課題：20枚相当のレポートを提出すること。

内田

実施地：栃木県那須町、福島県白河市

参加学生数：9名（男子4名、女子5名）

テーマ：風景論の基礎、および『おくのほそ道』の場所の意味の解説

内容：風景の鑑賞法について

人文主義地理学の方法について

課題：『おくのほそ道』の風景について

記号としての『おくのほそ道』

岡島

実施地：静岡県三島市

参加学生数：12名（男子12名、女子0名）

テーマ：近代交通の発達に伴う近代都市三島の変遷

内容：事前学習 夏休みに近代交通の発達について学習し、2000字以上にまとめる。

第1日 各班（2名）ごとに、三島市街地において町並みの家屋調査と聞き取り調査を行い、町の現状と変遷過程について考察する。

第2日 午前：旧東海道（山中城址～三島宿）を踏査し歴史的交通路を見学。

三島市郷土資料館の見学。

午後：前日の補足調査。

課題：町並み調査結果の地図をつくり、標記のテーマについてレポートを作成する。

磯谷

実施地：長野県茅野市・蓼科方面

参加学生数：10名（男子7名、女子3名）

テーマ：山地帯から亜高山帯にかけての植生

内容：標高の異なる3地域の森林植生（コナラ林、ミズナラ林、シラビソ・オオシラビソ林など）について、群落の分布や組成・構造・動態・成立環境などを調べた。

課題：調査地域の植生について、日本全体の植生帯との関係も含めて、A4版20枚以上のレポートとしてと

りまとめる。

加藤

実施地：東京都渋谷区

参加学生数：12名（男子 9名、女子 3名）

テーマ：渋谷区における「工場跡地」利用

内容：渋谷区において「工場跡地」の利用状況を調査し、都市の土地利用変化について考察する。

課題：実習で発見した仮説を検証することを中心に、調査結果についてレポートする。

### 3年生地理実習：10月22日（火）～25日（金）実施

長島

実施地：新潟市および周辺地域

参加学生数：7名（男子7名）

テーマ：各自の設定したテーマ（農業生産法人、農産物の地産地消、地酒製造、スポーツと地域、輸入促進地域の形成、都市の緑地・水辺空間の形成、マンション立地）

内容：各人のテーマに従って、資料収集と現地での聞き取り、夜は報告・討論（2・3時間）

課題：レポート 12000字（含む図、表、写真）

野口

実施地：福島県会津若松市

参加学生数：8名（男子7名、女子1名）

テーマ：会津盆地における気候の永年変化と都市の気候

内容：現地での気象観測、資料収集、若松測候所の見学。

課題：事前の準備（若松測候所の永年データのグラフ化）。現地での観測データと気象官署・アメダス・大気汚染観測網などのデータを利用して各自の研究テーマで考察する。

長谷川

実施地：伊豆大島

参加学生数：6名（男子3名、女子3名）

テーマ：3班に分かれて次のテーマで調査した。1）伊豆大島の火山性海岸地形の調査、2）リモートセンシングによる土地被覆調査とグランドトゥルース、3）火山災害と防災

内容：1）については、伊豆大島東岸の二つの海岸で海浜堆積物と砂丘などの比較をおこなった。

2）については、分光反射測定を、野外と室内で実施した予察的分類図の修正作業を現地で得たGPSデータをもとに修正した。3）については、役場等での資料収集、土地利用調査を実施した。

課題：30枚程度のレポート

内田

実施地：兵庫県神戸市周辺

参加学生数：6名（男子4名、女子2名）

テーマ：各人でテーマを設定する

内容：各人のテーマに従って論文作成のために必要な現地調査を行う

例：神戸と大阪の観光地イメージ、歴史的町並みの景観保存、温泉観光地としての魅力、落書き文化の分布と現状、W杯キャンプ地における地域住民の意識

課題：各自の研究テーマに基づいて、研究論文としての体裁を整えたレポートを提出する。

岡島

実施地：静岡市

参加学生数：11名（男子10名、女子1名）

テーマ：静岡市とその周辺における地域調査

内容：交通地理・歴史地理・都市地理に関して、各自が設定したテーマに基づいた資料収集、聞き取り等の調査。都心地区の見学。テーマ例：静岡鉄道の現状と課題、東静岡駅周辺整備と土地利用変化、新富士駅開設の影響、中心商業地の変容、駿府城址の土地利用変遷、駿府城下町の空間構造、スーパーの立地展開、都市公園の整備過程、宅地開発の特性、工場跡地の利用、地場産業地域の形成。

課題：各自が設定したテーマについてのレポート作成

磯谷

実施地：静岡県南伊豆町

参加学生数：10名（男子9名、女子1名）

テーマ：南伊豆地域の生物地理

内容：海岸植生班、針葉樹班、里山植生班、里山動物班、水辺生物班、の各班に分かれ、各自がそれぞれ事前に準備したテーマについての調査を行った。

課題：各自が調査した内容について、A4版30枚以上のレポートとしてとりまとめる。

加藤

実施地：三重県津市とその周辺

参加学生数：10名（男子9名、女子1名）

テーマ：津市とその周辺における地域調査

内容：各自が設定したテーマにもとづいた現地調査。例：三重県における「地域通貨」の現状、BSE・牛肉偽装事件が国産牛に与えた影響、松阪市・松阪牛を例にして、真珠生産における海外市場の動向と珠養殖、津市におけるCVSの立地展開、近鉄北勢線「問題」と地域の対応など。

真

課題：各自のテーマにもとづいてレポートをまとめる。書式等は卒業論文の手引きに基づき、原稿用紙（400字）25枚以上。

### 国土館地理学会巡検

第1回（引率者：岡島）：7月30日（火）実施

実施地：世田谷区内

参加者数：8名（男子3名、女子3名、教員2名）

テーマ：世田谷の歴史地理

内容：世田谷区立郷土資料館・世田谷代官屋敷・世田谷城址の見学～[小田急線で移動]～  
成城学園住宅地・国分寺崖線の緑地・小田急喜多見車庫屋上の公園利用の見学～  
[小田急線・東急バスで移動]～野毛大塚古墳・等々力不動・等々力溪谷の見学

### 【卒業論文公開口頭試験について】

地理学教室では、卒業論文の審査が公平になされるよう各々の論文を2名の教員が閲読し、さらに公開口頭試験の結果を加味して合否を決めています。今年度も下記の通り、卒業論文の口頭試験が行われ、試験の結果から卒論の評点が決まります。試験は、持ち時間9分の口頭発表とそれに続く質疑応答です。発表者はあらかじめ卒論の要旨、図表などをまとめたレジюмеを用意し、出席者に配布できるよう準備してください。また、質疑応答の際に必要な卒業論文のコピー、その他卒論作成に使用した資料や参考文献のコピーなどは、必ず持参してください。（公開口頭試験の際に提示を求められる場合があります）。これらは、卒論の合否が決まるまで処分しないこと。

就職が決まり、試験当日に社内研修などが予定されている4年生は、就職予定先に事情を説明し、研修欠席の手続きを済ませておくようにしてください。

なお評価の結果、優秀な卒論2編は、全国地理学専攻卒論発表大会（2003年3月15日頃 東京学芸大）で発表してもらうこととなります。発表者は、2月14日中に決定し、すぐに通知します。

日時：2003年2月12日（水）、13日（木）、14日（金） いずれも9：00～

場所：世田谷校舎 10号館2階 階段教室（10204教室）

注意事項（よく読むこと）：

試験時間は、1人18分（発表9分、質疑応答9分）である。発表者は発表用原稿を必ず用意し、あらかじめ発表の練習をしておくこと。発表の内容はもちろん、発表の手際や発表の態度なども審査の対象となる。（発表時の予鈴7分、本鈴9分）。

発表に際しては、かならず以下の要領でレジюмеを用意しておくこと。レジюмеはワープロにより作成することが望ましい。

1. レジюмеは、論文題目、氏名、論文の要旨（計800字程度で目的・方法・結果を書く）、説明に使用する図表によって構成する。
2. レジюмеの枚数は、A3サイズで2枚、横書き（図表を含む）とし、各自40部ずつ用意する（自費でコピー）。
3. レジюмеは、発表者交代の合間に、当該発表者の次の発表者が配るものとする。その際、まずはじめに教員に配ること。  
発表では、スライドやOHPなども使用できる。

（PCプロジェクターを使う場合、ノートPCは各自で用意すること。また、ディスプレイの設定で、外部モニターと内部LCD表示を同時に使用する必要があるため、PCのマニュアルをよく読み、この設定の仕方を確認しておくこと）

3年生は来年のためにも、全員2日以上出席すること。1、2年生もできるかぎり1日以上出席すること。必ず今後の参考になる。

【卒業論文公開口頭試験日程】

番号	氏名	題目	主査	副査
2月12日(水) 9:00~12:00<進行:加藤>				
1	佐藤 洋平	横浜市におけるなし栽培経営の推移	長島	加藤
2	三浦 拓朗	谷川岳の登山道荒廃について 利用形態の異なる二方面からの登山道の比較	長谷川	磯谷
3	内野 玲子	群馬県高崎市におけるバス交通の現状と役割	岡島	内田
4	小野 亜由美	明治末期から昭和初期の港町の変容 広島県福山市鞆町を事例に	岡島	内田
5	船木 哲也	外出行動の違いによる知覚環境の性差について	内田	加藤
6	樋口 健太郎	八ヶ岳西岳南西斜面のカラマツ植林と二次林の群落構造 特にチョウセンゴヨウとトウヒ属バラモミ節樹木の分布に着目して	磯谷	野口
7	木内 信治	首都圏西部地域におけるマツの育成と交通量との関係について	磯谷	長谷川
8	野原 秀子	千葉県白子町の水害に対する地域特性について	長谷川	磯谷
9	三橋 和則	千葉県北部鹿島川流域における放棄水田の植生	磯谷	長谷川
10	塩野 千枝美	波食棚における岩石の侵食の違いについて 三浦半島西岸の荒崎海岸と天神島を事例に	長谷川	磯谷
13:00~15:10<進行:長谷川>				
12	堀内 太一	沖積錐上の微地形と土砂の移動・堆積過程について 御勅川右岸沖積錐を例に	長谷川	野口
13	白井 清太郎	都市公園における利用者の行動 代々木公園を事例として	内田	岡島
15	廣井 敏之	東京の観光イメージ変遷 観光用印刷メディアの定量化の試み	内田	岡島
16	山口 堅太郎	東京都町田市の都市型河川における沈水植物の分布とその生育環境について	磯谷	野口
20	寺田 雄大	東京大都市圏における大規模ビルの都心部集中動向とその要因	長島	加藤
27	遠藤 正嗣	東京都における窒素酸化物(Nox)と交通量、気温、湿度及び風速との関係について	野口	磯谷
32	中野 剛志	愛媛県大洲市における歴史的町並みの保存の現状 おはなはん通り周辺地区を事例として	岡島	内田
15:20~17:30<進行:内田>				
34	益田 佳奈	東京臨海副都心における開発計画の内容と現状に関する考察	長島	岡島
36	橋野 大祐	久慈川支流・里川の河岸段丘	長谷川	磯谷
41	吉田 祐一	茨城県波崎町における不耕作農地の新しい土地利用	加藤	長島
43	内山 慶之	伊豆半島東岸河津町付近における二次林の種組成と分布に地質がおよぼす影響	磯谷	野口
44	笹原 岳史	多摩丘陵北西部谷底面の土地利用変遷について	磯谷	野口
47	塚原 愛恵	栃木県央地域における広域利用図書館の実態	加藤	長島
50	黒川 和樹	東京都における自動車交通の空間的形態	岡島	内田
2月13日(木) 9:00~12:00<進行:岡島>				
52	新井 孝宣	東京都におけるスーパーマーケットの立地展開 高級スーパーを事例として	長島	内田
58	渥美 大輔	冬季夏季海水温が日本各地の気温に与える影響について	野口	長谷川
60	長嶋 健太郎	過疎、離島地域における観光産業の現状と課題について 新潟県佐渡島を事例に	長島	加藤
61	雨宮 達矢	河口湖における「ゲームフィッシング」の展開とその地域的影響	加藤	内田
62	森山 達矢	伊豆半島松崎町におけるニホンイノシシの分布拡大とその要因	磯谷	長谷川
63	金子 知紘	1993年・1994年の冷夏年及び暑夏年の地上風系について 特に茨城県南部地域を中心として	野口	長谷川
69	小関 英治	都市モノレールの現状と課題 多摩都市モノレールと千葉都市モノレールを事例に	岡島	内田
72	山脇 哲志	鹿嶋市における商業の衰退と中心商店街の二極分化	加藤	長島
74	小林 雅史	東京都多摩市在住高齢者の転居移動の特性	加藤	長島
75	鈴木 敬子	活断層トレンチ調査壁面を用いた断層変位地形の復元	長谷川	野口

13:00～15:10<進行:野 口>

83	井口 正胤	イタリアンレストランにおける集客力 渋谷区を事例として	長 島	内 田
84	小峰 邦良	高麗川中・上流域におけるニセアカシア林の分布と生態	磯 谷	長谷川
87	浅草 将	事業所統計からみた京都府の産業の特徴	加 藤	岡 島
91	石渡 あゆみ	広域避難所の分布と立地状況からみた安全性の考察 神奈川県大和市を事例として	長谷川	磯 谷
93	林 清子	新潟県石打丸山スキー場の放置ゲレンデにおける遷移の進行について	磯 谷	野 口
94	石坪 孝之	地方都市における音楽祭の地域に与える影響	長 島	岡 島
95	山根 明	島根県松江市の市長主導型観光政策の展開による地域への影響	加 藤	内 田

15:20～17:30<進行:磯 谷>

96	藤原 裕子	石垣島白保サンゴ礁浅海域の海草帯の経年変化	長谷川	野 口
97	竹内 亮二	都市河川の水害対策 千葉県市川市真間川流域を事例に	長 島	岡 島
98	後藤 智春	私鉄系企業による住宅地開発 相模鉄道の事例	岡 島	加 藤
101	野澤 宏之	豊川稲荷周辺商店街の現状と課題	加 藤	長 島
102	岩崎 徳子	新潟県の学校給食における地域的特性と地産地消運動の展開	加 藤	内 田
103	山口 あすか	長野県松本市における大規模小売店舗の地域的特性	岡 島	加 藤
104	八取 信介	農村地域における高齢者の医療施設の選択について 福島県西白河郡表郷村を事例として	内 田	長 島

2月14日(金) 9:00～12:00<進行:内 田>

107	藤井 龍太	神奈川県西湘海岸における砂浜海岸の侵食・堆積の季節変化	長谷川	野 口
109	吉田 愛	静岡県南伊豆町のニホンイノシシの分布域とその変遷	磯 谷	野 口
110	小濱 広太	石垣島吹通川河口マングローブ林の拡大と表層堆積物との関係	長谷川	野 口
111	近 秀春	東京都江東・江戸川区における避難場所の利用特性と地域住民との関わりについて 避難指定地区5地区を対象に	長 島	内 田
115	伊勢田 晋	神奈川県内主要道路における渋滞発生原因及び改善策の効果について	岡 島	加 藤
117	櫻井 久	大街区方式の土地区画整理事業を利用した特定再開発事業についての考察 横浜みなとみらい21地区における事例	岡 島	加 藤
120	畑山 雄	ヤマセ吹走時における青森県の特徴	野 口	内 田
125	南條 幸助	三浦半島における気温と風の特徴について 特にアメダス地点三浦を中心に	野 口	長谷川
128	大谷 嘉克	大都市近郊地域における緑地の防火機能について 東京都町田市内を事例として	磯 谷	野 口
130	村田 雅文	千葉県市川市行徳地域の都市化の展開	岡 島	長 島

【国土館地理学会費の納入について】

下記に掲げる者は、国土館大学地理学会費（12,000円）が未納となっておりますので、至急お支払いください。  
地理学教室では、4年分の会費を納めていない学生については卒業を認めておりませんので、いずれ必ず払うこととなります。早めに納入することを勧めます。

次の要領で、全員必ず会費を納入するようにして下さい。1 月末までに郵便振替で納入すること。期日内に納入しなかった者については、保護者宛てに督促状を送ります。

振替用紙は郵便局にあります（「口座番号：00150-7-161762、加入者名：国土館大学地理学会」と記入）。

（注：疑問の点は会計担当の内田まで連絡して下さい。なお、上記は12月15日現在の未納者です。）